

風薫る季節です！



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和2年5月号】

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

本日より、全校生登校！

5月14日の政府の緊急事態宣言解除及びその後の福島県による学校一斉臨時休校解除を受け、本日より全校生が登校することになりました。

生徒たちの姿から

新型コロナウイルスによる感染拡大予防のための休校が長期化し、これからの学校生活や進路、健康への不安などに直面しながらも、毎日、計画的に学習課題に取り組んだり、体力の維持に努めたり、手伝いをしたりしていたという生徒たちの家庭での生活ぶりに成長を感じました。一方、友人との再会にマスク越しにこぼれる笑顔や授業に対する真剣な眼差しなど、学校生活場面での生徒たちの生き生きとした姿から、学校の持つ役割の大切さをあらためて感じました。

新型コロナウイルス対策＝マラソン

ウイルスへの対策は、有効なワクチンや治療薬が開発されるまで手を抜くことなく続ける必要があります。1年以上かかるかもしれません。マラソンと同じで、飛ばし過ぎると途中で失速します。ゆっくり過ぎるとウイルスの勢いが増します。新型コロナウイルスは強力です。しかし、みんなが協力し賢く行動すれば、社会崩壊も医療崩壊も防ぐことが出来るはずです。今、私たちが新型コロナウイルスに試されています。私たちの団結力を見せつけなければなりません。(京都大学 山中伸弥教授HPより)

新型コロナウイルスを想定した今後の学校生活は、生徒たちにとって、これまでの学校生活とは違う何かと不自由の多いものになることは避けられませんが、お互いに我慢し合い、支え合い、協力し合いながら充実した学校生活を送らせたいと思います。

自分を、そして周囲の大切な人を見失わない

- 正しい情報を得て、それをもとにどのような行動をとればよいかを判断する
- 自分だけでなく周りの人達のことや先のことも想像する
- 厳しい条件のもとでもしっかり前を向いて決してあきらめない
- 仲間と協力し創意工夫して学習や健康等についての大きな課題に挑み解決していく

ニュースでは、医療に従事する方、感染した方、県外ナンバーの車両等への心ない言動が、連日のように報じられています。新型コロナウイルスには、未知なウイルスであることから生じる「不安や恐怖」が「嫌悪」の対象を作り出し、「攻撃」し、それが「偏見・差別」につながる危険性、さらには、自分自身の人間性をも奪い、人との信頼関係などを壊してしまう危険性があると言われています。(日本赤十字社HPより)「嫌悪・偏見・差別」は絶対にあってはならないことです。この未知のウイルスに振り回されないように、生徒たちの「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を高め、周囲の状況を見極め、正しい情報をもとに、今できることにしっかり取り組ませたいと思います。そして、医療に従事する人々をはじめとする感染を拡大させないために頑張っている周囲のすべての人々への「ねぎらい、敬意」、「やさしさ、思いやり」を忘れずに毎日を送らせたいと思います。

感染症対策に万全を期すとともに、日々の学校生活の中で、生徒たちが、互いに学び合い、認め高め合いながら、新しい知識や技能を身につけたり、喜びや感動の瞬間を共有したりすることで、新しい自分を発見し、新たな世界の広がりを感じていくことができるよう、教職員一同、生徒たちを支えていきます。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

Even the darkest night will end and the sun will rise.

どんな暗い夜も、いつかは明けて日が昇る。

Victor Hugo, *Les Misérables* より

新型コロナウイルス感染拡大による令和2年度相双地区陸上競技大会・総合大会、
ならびに吹奏楽コンクール相双支部大会等の中止について

新型コロナウイルス感染拡大を受け、すでに新聞報道等でご存じの通り、中体連全国大会、東北大会が中止となり、過日4月28日発表の県中体連主催の夏季大会（陸上競技・総合・水泳）の中止を受け、相双地区陸上競技大会・総合大会の中止が決定しております。また、5月13日には、吹奏楽コンクール全国大会、東北大会、県大会の中止を受け、相双支部大会の中止も決まりました。これらの決定は、新型コロナウイルス感染のリスクから生徒そして人々の命を守るということを第一に考えての判断ではありますが、これまで、それぞれの大会を目標に、日々努力してきた生徒の皆さん、そして、お子様を支えてきた保護者の皆様をはじめ多くの皆様にとりましては、非常に残念なお知らせとなりました。

生徒の皆さん、特に中学生最後の大会に向けて高みを目指してきた3年生の皆さんの気持ちを考えると、本当に心が痛みます。しかし、これまで、チームとして、個人として、目標を掲げ、取り組んできたことは、決して無駄ではありません。優しい気持ち、強い気持ち、感謝の気持ちもたくさん育てることができたことを誇りに思ってください。顧問の先生、コーチ、講師の先生、先輩や仲間達、対戦相手そしていつも応援してくれる家族の方々など多くの人達との関わりを通して学んできたことを生かして、中学校生活を充実したものにしていくとともに、これからの自分自身の方向性を主体的に選んでいってほしいと思います。

すぐに気持ちを切り替えることは難しいことだと思いますが、今のこの時間を次のステップに進むための心と体の準備期間にしてください。新たな目標に向かって頑張ることができるように応援していきます。まだまだ不確かな状況は続きますが、しっかり前を向いて進んでいってほしいと思います。

なお、今後の部活動については、3年生の気持ちもしっかりと受け止めながら、どのように進めていくかを考えていきたいと思っています。保護者の皆様には、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

令和2年5月19日

南相馬市立鹿島中学校長 高橋 知宏